

行橋市立延永小学校学校通信
(2018年・平成30年度)

延小だより No.7

水無月 June 6月20日 発行

【学校目標】

豊かな心を育み、自ら学び、たくましく生きる子どもの育成

《校訓》 勤勉

◇ めざす子ども ◇

- ☆ 思いやりの心を持ち、素直で明るい子ども
- ☆ 自ら意欲的に学び、すすんで汗をかく子ども
- ☆ 地域に愛される元気な子ども

ネットトラブル・ネットモラルについて

～ あなたは大丈夫？こうして防ごう！ネットトラブル ～

以前勤務していた学校で、現役の弁護士の方をお招きし『ネットトラブル・ネットモラル』についてご講演いただいたことがありました。そのときの内容の一部を紹介します。

〈ネット上のいろいろな問題について〉

- ・個人情報の流出
- ・プライバシーの侵害
- ・ネットいじめ・名誉毀損
- ・出会い系サイトを介しての様々な被害
- ・詐欺、詐欺まがいの財産的被害

〈ネットいじめって?〉 ～ SNSの使い方を間違えると ～

◇ Twitterのどこが便利？危険？ ◇

○便利なところは？

- ・言いたいことをその瞬間にツイートして、みんなに読んでもらえる。
- ・ニュースの速報より速い！

●危険なところは？

- ・発信したらすぐに広がってしまう（拡散）。
- ・一度拡散したら取り返しがつかなくなってしまう。
- ・個人情報がどんどん流れていく。



◇ LINEのどこが便利？危険？ ◇

○便利なところは？

- ・写真、動画が簡単に送れる。・複数の人、グループで手軽にやりとりができる。
- ・絵文字（スタンプ）が可愛い。 ・無料で通話できる。

●危険なところは？

- ・文字だけのやりとりで誤解を招きやすい。
- ・LINE内の会話がいじめに発展することもある。
- ・見知らぬ人から迷惑メールがくることもある。
- ・アカウントが乗っ取られることも…。

〈ネットは犯罪の巣窟〉 ～ 思わぬ落とし穴 気づかぬうちに ～

- ・ SNS → 誹謗中傷 (名誉毀損罪、侮辱罪が成立する場合もあり)。
- ・ 出会い系サイト・コミュニティサイト → 様々な犯罪に巻き込まれる危険性。
- ・ ネット詐欺 → オークション詐欺、チケット詐欺。

◇ ネットモラルについて ◇

※利用する場合の注意点

- ・ネットは世界中の人々が見ている。
- ・ネットに載せた情報は半永久的に残る。
- ・直接対面しないためなりすましが容易なので、個人情報等は絶対に書き込まない。

大人でも対処が難しい場合は警察へ！

親子で携帯・スマホのルールを作ってください！

携帯電話やスマートフォン等の使用による弊害（生活習慣の乱れ、学力の低下など）や命に関わる事件（いじめ、誹謗中傷など）が問題になっています。

そこで、使用する場合の親子のルールを必ず決めてください。

【平成28年2月23日（火）の西日本新聞朝刊より】

傷ついた心

不登校の現場から

◇1◇

朝、起きていつものように無料通信アプリ「LINE」に「E（ライン）」の画面を開くと、見知らぬ名が100人以上、「友だち」として登録されていた。なぜ？

しばらくして友人から「学校の誰かがIDをネットに公開したらしい」と連絡があった。ユリさん（16）は仮名で北九州市の中学に通っていたころの体験だ。

ユリさんは中2の時、仲の良い5人とLINEを利用しグループをつくり、帰宅してから寝るまで「トーク」し合った。今見ているテレビの話、先生の悪口……。「お風呂でも防水の袋をかぶせてスマホ（スマートフォン）を使った」

グループでの異変は突然、始まった。ユリさんが仲間外れに遭った同級生を励ましたところ、数人から怒りを表す「スタレン」（スタンプの連打）が起きた。同級生をいじめた側にグループのメンバーがいたことを知らなかった。返事せずにいると「虫（無視）か」と書き込まれた。

学校を休みがちになったころ、ユリさんの写真が「○」事件の犯人にそっくりwと添えられ、クラス内のLINEで出回ったことを知った。首謀者は突き止められていない。昨春、高校に入学したユリさん。だ

スマホ

あっという間に標的



「LINEは手軽にコミュニケーションが取れる一方、使い方はトラブる」

子どものスマートフォン事情 内閣府の2014年度調査によると、中学生では、約半分がスマートフォン（スマホ）を通じて2時間以上インターネットを利用している。北九州市では14年、小中学生による「いじめ防止サミット」で、努力目標として「スマホは午後10時までに電源を切る」と決めた。

が、すぐ不登校になった。「友達が怖いんです」

「『友だち地獄』という言葉、知ってますか？」。複数の友人と簡単に会話できる情報共有できるLINEだが、北九州市立天の

楠凡之教授（臨床教育学）は「人間関係を閉ざしている時間が一番恐怖となつてしまふ」

悪質な書き込みなど学校の現場のネットトラブルについて相談を受ける全国webカウンセリング協議会（東京）。LINEが絡む相談を集計し始めた12年は35件で全体の0.2%だった。それが15年は140倍近い4813件。約22%を占める。「LINEがきっかけの不登校は今後、増える恐れがある」。安川雅史理事長（50）は警告する。

全国に約12万人いるとされる不登校の小中学生。原因はいじめや非行などさまざま。近年は家庭の貧困問題やネットトラブルも影を落とす。傷ついた子どもたちの心はどうすれば回復するのか。北九州・京築の不登校の現場から支援の在り方を考える。

（この連載は大庭麻依子が担当します）

全国に約12万人いるとされる不登校の小中学生。原因はいじめや非行などさまざま。近年は家庭の貧困問題やネットトラブルも影を落とす。傷ついた子どもたちの心はどうすれば回復するのか。北九州・京築の不登校の現場から支援の在り方を考える。